

表 シカゴ連銀経済報告（2020年7月15日公表）

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は非常に低い水準から大幅に(substantially)回復 賃金は少しずつ上昇(edged up)	雇用は、給与保護プログラム(PPP)により解雇に至っていないが、PPPが尽きた後の雇用継続については将来の需要次第であるとの報告が見られた。減産に直面している製造業においては、その期間はメンテナンスや生産性向上のための取組を行なっている。自動車ディーラーは、通常より少ない雇用で多くの販売を行なっている。失業保険が充実していることから、望ましい賃金水準に戻していくことが難しいとの報告も見られた。賃金、福利厚生費が上昇している。
物価	物価はやや(Slightly)下落	物価は今後12カ月で控えめに上昇することが予想される。小売価格は控えめに下落し、アパレル関係で大きく下落した。食品・飲料価格は上昇し、特に牛肉が上昇した。生産者価格は若干下落した。仕入れ価格は、輸送費の控えめな上昇を除き、概ね変化はなかった。
個人消費	個人消費は大幅に(substantially)上昇	商店などの営業再開により個人消費は大幅に上昇し、予想を上回る回復となった。特に、工具、家具、飲食料品、スポーツ用品の小売りにおいて強い回復が見られるが、アパレルについては安売りを行なっているものを中心に売れている。自動車販売は急激に動いており、自動車ディーラーのサービス部門は自宅待機命令時に積み上がった残務を引き続き行なっている。娯楽産業については新型コロナウイルス蔓延以前の状況に戻っておらず、今年、特にホリデーシーズンの消費者支出を心配する声も報告されている。
企業支出	控えめに(modestly)上昇	小売店の在庫は、特にアパレルにおいて過剰となっている。軽トラック、ボート、RV車については在庫が少ない状況である。製造業は在庫が過剰となっている。設備投資はやや増加しているが、年間の支出計画の引き下げが見られる。新型コロナウイルス対策のための職場環境の整備が引き続き見られるが、出張費の削減などによりコストを相殺している。輸送費は控えめに上昇をしている。商業・産業用のエネルギー消費は控えめに上昇している。
建設と不動産	控えめに(modestly)上昇	住居用建築はやや減少した。住居用不動産業は非常に低い水準から控えめに増加している。非住居用不動産建設はやや減少しており、多くは新型コロナウイルス蔓延以前のプロジェクトによるものである。商業用の不動産業はほとんど変化は見られず、苦境が続いている。ほとんどの家賃は期限通りに支払われているものの、小売店、レストランなど休業を余儀なくされた多くのテナントが夏の終わりまでの支払い期限の延期を要求している。小売店やレストランの閉店は加速している。賃料は下落したが、不動産の空き物件が増加している。
製造業	力強く(strongly)増加	自動車は、組立工場や部品のサプライヤーが操業を再開したため、非常に低い水準から急激に増加した。しかし、再び新型コロナウイルスが蔓延することによる工場閉鎖の懸念も報告されている。鉄鋼は、自動車、石油・ガス産業の需要に牽引され、控えめに上昇した。重機の需要は上昇しているが、依然として低いままである。特殊金属の生産は、防衛産業の着実な需要や医療、食品製造業分野の需要増により控えめに上昇している。建設資材メーカーは出荷量が控えめに上昇している。
金融	控えめに(modestly)悪化	株式および債券市場では、価格の変化はほとんど見られないがボラティリティが上昇した。ビジネスローンの需要は、PPPに関する動きが落ち着き、控えめに減少している。現金預金が増加している。娯楽産業、商業用不動産業、ヘルスケア産業において、ビジネスローンの質が控えめに悪化している。ビジネスローンの基準は控えめに引き締められている。消費者ローンの需要は控えめに減少したが、住宅ローンの借り換え需要は引き続き高い。消費者ローンの質はやや悪化した。支払い期日を延長した世帯のうちの半数は、60～90日の期日延長後の返済再開に苦しむだろうと報告されている。消費者ローンの基準は控えめに引き締められている。
農業	コロナ禍が農業所得の重しとなっているが、支援策などにより回復	新型コロナウイルス蔓延が農業所得の重しとなっているものの、農産物の価格上昇やCARES法による支援策により農業所得も回復している。トウモロコシと大豆の価格については、予想よりも作付けが少なかったとの農務省の報告を受けて上昇した。トウモロコシと大豆の作付けは順調。食肉については、パッキング工場が再開し、追加的な生産体制を敷いているため、昨年と同じ水準に戻った。それでもなお、処理すべき豚の在庫が残っている状況である。牛と豚の価格は低下し、昨年より低い水準にある。乳製品の価格は上昇傾向にあるものの、牛乳の価格は昨年より低い水準にある。チーズの需要が上昇し、価格を押し上げた。エタノールの利ざやが大きくなっているが、製造工場は閉鎖またはフル稼働を行っていない。農地の価格は、再生可能エネルギー工場、レクリエーション施設、家屋の建設といった需要により、安定している。

(出所) シカゴ連銀経済報告を基にジェットロ作成